経営比較分析表/団体全体(平成30年度決算)

佐賀県 唐津市 【喜業概要】

140.00

120.00

100.00

80.00

0.00

120.00

100.00

80.00

60.00

40.00

20.00

0.00

H26

37.24

平均値 91.03

H27

35.37

100.16

H26

72.50

H27

71.61

経常収支比率(%)

H28

63.50

料金回収率(%)

H28

28.20

H29

29.71

100.54 95.99

H29

66.50

118.03 120.00 113.67 110.79

業務名	業種名	現在配水能力(合計)(m³/日)	類似団体区分	施設数	1 日平均配水量(m³)
法適用	工業用水道事業	9,300	極小規模	1	1,068
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	給水先事業所數	契約水量(m³/日)	管理者の情報	
	00.0	6	4 770	北≒九里	

グラフ凡例

当該団体値(当該値)

類似団体平均値(平均値)

【】 平成30年度全国平均

分析欄

[246.04]

H30

71.69

1. 経営の健全性・効率性について

経営収支比率は100%を下回り、 累積欠損金比率については、ここ数年既契約企業の契約水量が増加し減少傾向ではあるが、累積欠損金は年々増加し、赤字経営が続いている。

流動比率は、償還金元金が年々減少していることにより、値が上ってきている。短期的な資金運用に支障はない。

· 文障はない。 企業債残高給水収益比率は、令和2年度に償還

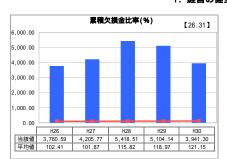
金が終了するため、減少している。 料金回収率は100%をかなり下回っており、 給水に係る費用を給水収益だけでは賄えてはいな

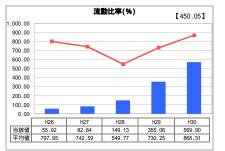
ハ。 給水原価は、工業用水施設の管理負担金の割合

が高いため、平均値をかなり上回っている。 施設利用率と 契約率については、給水区域に 食品加工業者が多く、契約水量が伸びず、平均値を 下回っている。

以上のことにより、累積欠損金は年々増加し、給水に係る費用も給水収益では賄えておらず、施設の 老朽化に伴う設備更新など新たな投資も必要となる ため、経費の節減や給水契約の増加に努めていかな ければならない。

1. 経営の健全性・効率性

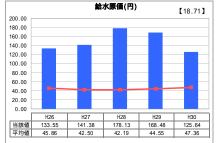






[118.92]

79.93







企業債残高対給水収益比率(%)

800.00

700.00

600.00

500.00

400.00

300.00

200.00

100.00

0.00

H26

721.05

H27

559.74

H28

406.96

446.61 430.97 536.28 514.66 504.81

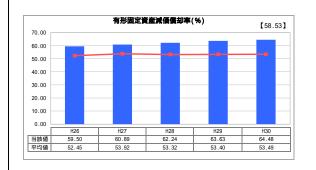
H29

187.40

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率は、一定の割合で上昇 してり、 管路経年化率及び 管路更新率は、耐用 年数を経過した管はなく、更新を行っていないが、 布設より25年が経過しているため、順次更新して いく必要がある。

2. 老朽化の状況







全体総括

平成5年に工業用水の給水を開始したが、絵水区 域には食品加工業者が多く、工業用水が適さず、契 約率は低いままで、設備等の老朽代も進んでいる。 食り担保を表したが、要した。 な食担となるため、今後の経営状況はますます態度 くなると見込まれる。果内での現行料金は、海津市 が最高であり、料金改定は予定していない。今後 も、経費の耐減、給水区域の新規需要の開拓や既契 が強高であり、料金のでの前規需要の開拓や既契 が増加水の用途等の再検討など契約水量 の増加に努め、給水収益の増収を図る必要がある。